

News Release

令和元年 7 月 3 1 日

東日本高速道路株式会社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

JESCOは、このたび、東日本高速道路株式会社（以下、「同社」という）が発行するソーシャルボンド（以下「本債券」という）への投資を実施しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

本債券発行による調達資金は、同社が担う高速道路事業に充当され、「地域活性化」、「災害対策」、「交通安全の推進」、「環境保全」などの社会貢献活動に活用されます。高速道路事業は、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）⁽²⁾のうち、「目標 8：働きがいも経済成長も」、「目標 9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標 11：住み続けられるまちづくりを」等の達成にも貢献するものであります。

JESCOは、将来の支出に備えた資金運用の一環として、安全性・収益性の確保のみならず、持続可能な社会の形成に寄与するため ESG 課題も考慮して、本債券への投資を実施いたしました。今後も、適切なリスク管理のもとで、資金面での社会貢献活動に取り組んでまいります。

(1) ESG とは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG 投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲットのこと

<本債券の概要>

債券名：東日本高速道路株式会社第 59 回社債

（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）

発行額：総額 400 億円

期 間：5 年（2024 年 6 月 20 日償還）

以上